【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成19年6月28日(2007.6.28)

【公開番号】特開2005-319162(P2005-319162A)
【公開日】平成17年11月17日(2005.11.17)
【年通号数】公開・登録公報2005-045
【出願番号】特願2004-140856(P2004-140856)
【国際特許分類】
　Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
　Ａ６３Ｆ　7/02　３１５Ｚ
　Ａ６３Ｆ　7/02　３２６Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成19年5月10日(2007.5.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　発射により上部に案内された遊技球が流下する遊技領域と、
　前記遊技領域に設けられた第１及び第２作動口と、
　遊技球が前記第１作動口に入球した旨を検出して検出信号を出力する第１入球検出手段と、
　遊技球が前記第２作動口に入球した旨を検出して検出信号を出力する第２入球検出手段と、
　前記遊技領域の所定部位に設けられ、識別情報を変動表示可能な第１表示部と、
　前記第１表示部とは別に設けられ、識別情報を変動表示可能な第２表示部と、
　遊技状態を決定し、当該決定内容を含む指令の出力制御を実行可能な遊技状態決定制御手段とを備えた遊技機であって、
　前記遊技状態決定制御手段は、前記第１入球検出手段からの検出信号が入力されることを条件に、所定の集合から値の選択を行い、前記選択された値に基づき遊技状態を決定し、前記第１表示部において識別情報を変動表示させるとともに、その後確定停止表示させるべく指令を出力し、前記決定された遊技状態が遊技者に有利な特別遊技状態の発生の決定である場合に、前記第１表示部にて識別情報を予め定められた特定態様で確定停止表示させた後に、前記特別遊技状態を発生させるように指令を出力可能であるとともに、
　前記第２入球検出手段からの検出信号が入力されることを条件に、所定の集合から値の選択を行い、前記選択された値に基づき遊技状態を決定し、前記第２表示部において識別情報を変動表示させるとともに、その後確定停止表示させるべく指令を出力し、前記決定された遊技状態が遊技者に有利な特別遊技状態の発生の決定である場合に、前記第２表示部にて識別情報を予め定められた特定態様で確定停止表示させた後に、前記特別遊技状態を発生させるように指令を出力可能であり、かつ、
　前記第１表示部及び第２表示部のそれぞれについて、前記識別情報の変動表示が未だ完了せず、新たにどちらか一方の入球検出手段からの検出信号の入力があった場合、前記一方の入球検出手段に対応する表示部について、入力の度に１回分加算され、特定数を上限とし、前記変動表示の開始の度に１回分減算される留保数を記憶するとともに、該留保数の加算時の前記検出信号の入力に基づき選択された値を順次記憶し、

前記第１表示部及び第２表示部のうち、どちらか一方の留保数が前記特定数に達し、他方が前記特定数に達していないときに、少なくとも、新たに前記一方に対応した入球検出手段からの検出信号が入力される場合に、前記他方の表示部に対応した留保数を特別に１回分加算する特別加算処理を実行可能としたことを特徴とする遊技機。

【請求項２】

前記遊技状態決定制御手段は、前記第１の表示部及び第２の表示部のうち、どちらか一方の表示部について、前記識別情報の変動表示が完了し、自身に対応する留保数がない場合には、

前記一方の表示部に、他方の表示部に関連した表示をさせる指令を出力可能であることを特徴とする請求項１に記載の遊技機。